

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	167 男女共同参画講座事業経費	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
基本 施策	41 あらゆる場に男女がともに参画する社会をつくる	項	01	総務管理費
		目	18	男女共同参画費
		細目	152	男女共同参画推進経費
行革大綱の重点事項番号		細目	53	男女共同参画講座事業経費
担当部署	コード	100900	担当者	22 - 9632
	名称	人権政策・男女共同参画課	氏名	河野 慶子 連絡先 (内線) 2180

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	就学後の市民	※対象件数
成果(どうする)	男女共同参画意識の浸透を図ることができる。	
根拠法令・要綱等	男女共同参画社会基本法・伊賀市男女共同参画推進条例	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
各支所において男女共同参画セミナーや座談会・講演会を実施		
H22 事業内 容	三重県内男女共同参画連携映画祭2010実施 上映作品:「幸福な食卓」、会場:ふるさと会館いが 中央公民館と共催で高齢者対象の講演会実施 「介護が必要になっても困らないために」講師:二階堂 樹 ワークライフ・バランスセミナーの実施 講師:杉浦礼子 男女共同参画ネットワーク会議会員への研修会実施 講師:花見楯子 男の料理教室(親子編)、出前講座の実施	
社会情勢 の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
講演会	回	目標	2	2	2	2
		実績	2	9		
出前講座	回	目標	5	5	5	5
		実績	2	1		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
参加者数	人	高齢者・団塊の世代・関心の薄い層の意識啓発	目標	450	450	450	450
			実績	410	616		
参加者のアンケートによる意識啓発と理解	%	「男は仕事」「女は家事・育児」と思わない市民意識の割合	目標	55	70	60	65
			実績	87.8	81.3		

投入コスト	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
直接事業費計(A)	185	177	551	551
Aの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	185	177	551	551
事業投入人件費(B)	0.7人	0.7人	1人	0.7人
フルコスト(A)+(B)	5,225	5,217	552	5,591

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	○
市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○	
民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	
		最小限のコストで実施している。

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	出前講座の周知を図るとともに、地区草の根運動啓発推進事業の中でテーマに取り入れていただくなど、学習機会の拡大について努める。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】
取組状況	広く参加者を募集する講演会については、各年代や、個人・事業所など様々な層を対象に啓発を行うことができた。地区への出前講座や草の根運動啓発推進事業では、テーマに「男女共同参画」を取り上げる地区が増え、学習機会が拡大している。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	大橋 久和
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	講座事業については、様々な年代層や対象者に合った内容を考慮して講演会・研修会を実施しており、当面は男女共同参画社会の実現に向けた社会意識の醸成のため、現在の事業を継続していく。
現時点における課題、その他	各講座への参加人数が少なく固定化しているのが現状であり、新たな参加者を呼び込み、参加人数の増加を図ることが課題である。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	各種講座への積極的な参加を、男女共同参画ネットワーク会議の構成団体に働きかけるとともに、住民自治協議会や事業所に対しても、これらの事業への参加を位置づけていただくなど、参加者の拡大を図っていく。また、地域に対し主体的な学習活動の取組の必要を伝え、地区別懇談会や出前講座の活用を促進していく。